

令和6年2月栃木市教育委員会定例会会議録

令和6年2月栃木市教育委員会定例会を、令和6年2月26日栃木市役所に招集した。

- 1 本委員会の出席者は、次のとおり
青木 千津子教育長 後藤 正人職務代理 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員
大塚 裕子委員 舘野 知美委員 林 慶仁委員
- 2 本委員会の欠席委員は、無し
- 3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり
教 育 次 長 金 井 武 彦
参事兼教育総務課長 佐 藤 義 美
学校教育課グローバル教育推進室長 小 林 伸 彦
文 化 課 長 奈 良 部 満
蔵 の 街 課 長 佐 藤 啓 子
- 4 本委員会の署名委員は、次のとおり
後藤 正人委員
- 5 本委員会の書記は、次のとおり
教育総務課 石川 佳代
- 6 本委員会の会議案件は、次のとおり

日程第1 会議録の承認

日程第2 教育長報告

日程第3 議事

協議第2号 栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会への諮問について

報告第1号 栃木文化会館施設整備基本計画(素案)及びパブリックコメントの実施について

議案第1号 栃木市教育委員会行政組織等規則の一部改正する規則の制定について

議案第2号 栃木市文化振興計画推進本部設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

日程第4 その他

《会 議》

教 育 長 — 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —

教 育 長 日程第1 会議録の承認についてでございます。1月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へ配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。

— なしの声 —

教 育 長 それでは、会議録への署名をお願いいたします。

教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。

— 2月栃木市定例校長会の資料に基づき説明 —

1 はじめに

NPO法人プロテクトチルドレン代表 森田志歩さんとのこと

2 管理職期末面談を通して確認できた成果から(ほんの一部です)

○授業力の向上に向けて

- ・毎日2校時と5校時に教室巡回(ニコニコ訪問)をし、授業の様子及び校内環境の状況把握
- ・就任以来継続の授業参観→記録→フィードバック(1教諭に2回)を実施し、望ましい実践をHPで紹介し共有化
- ・法定研修に係る授業や1人1研究授業を授業参観し、成果や課題について画像を交えフィードバック
- ・学校課題研究の視点で授業を参観→適時指導助言→学期末に全体で共有したい改善策を提示

○配慮を要する児童生徒への対応の充実に向けて

- ・保護者と連携してすくすくシートを作成→校内支援体制の整備に注力。報告・相談等で校長室をサロン化
- ・発達に課題を抱える児童の担当医を講師に、当該児童への対応の在り方について校内研究を実施

○不登校への対応

- ・多くの学校で校内版教育支援センターを開設し、組織での運営に努力
- ・フリースクールに参加している児童への理解促進のため、2カ所の施設を訪問し情報交換を実施
- ・子どもの居場所づくりについて、教職員や保護者と考える時間を設定

○働き方改革に向けて

- ・月に一度、各自が決めた日に定時退勤する取組が定着
- ・2学期より‘ノー残業デー’と*‘リフレッシュデー’を実施
*代休のお子さんと出かけたり、休養したり、それぞれがリフレッシュ

○その他

- ・学校祭でアシストネット事業を活用
→学校支援ボランティアが*10の講座を指導
*演劇、お囃子、ギター演奏、ダンス、映像制作、手芸作品制作 等
- ・「文化伝承」について

3 今季参加した講演会等から

◇1/27(土)市男女共同参画の集い

演題:「脳とコトバ ～日本語はなぜ美しいのか～」

講師:人口知能研究者 黒川伊保子氏 参考:『ことばのトリセツ』

◇2/3(土)とちぎ未来アシストネット 第8回ボランティア交流会

◇2/9(金)グローバル教育講演会

海外で活躍している栃木市出身の車いすテニス選手、大谷桃子氏が講師

4 締めくくりの季節。特にお願いしたいこと

(1) 次年度の滑らかなスタートに向けた準備へのお願いについては、1月定例会で示したとおり

改めて、《学校経営グランドデザインの策定》に際し、学校評価の分析結果等をもとに自校の課題をしっかりと把握し、注力すべき事項の明確化と具体的な改善策を打ち出されたい。

また、《学力向上》、《いじめ・不登校・体罰の未然防止》に向けた取組については、どの学校においても最重要事項と捉え、新年度当初の新体制における組織的なかつスムーズな滑り出しに留意いただきたい。

(2) 「人事異動」を、個々の教職員の成長と組織活性化への契機におわりに

一年間、大変お世話になりました。特に、本年度末に退職あるいは役職定年を迎えられる校長先生方、永年に渡るご尽力に心より感謝申し上げます。

教 育 長
福 島 委 員

私からの報告は以上でございます。ご質問等ございましたらお願いします。
今の不登校への対応のところで先日、館野委員もおっしゃっていた、栃木おやこ劇場という不登校の子どもを持つ親のためにちょっとしたサロンと言いますか、親同士が集まって悩みを話し合うということ、募集をかけたところ、とにかく入りきれないほどのすごい人数が来たという話を聞いて、栃木市の不登校を抱える保護者の方がこんなにいるのかとびっくりした、という話を聞きました。そのようなことがあったので、ぜひ実際に栃木市内で不登校がどういう現状なのか、それと校内版教育支援センターということで、教育長が校長だった頃から不登校について、働きかけをされていると思うのですが、現実にはどのぐらいの規模の不登校の児童生徒がいるのか、ということと、やはり民間の業者がやってくれるものとは別に、行政側として、そういった保護者の方たちが集まる機会があるのかどうか、もし何かあれば、今後そういった機会を作っていく予定があるのか、その辺も含めて聞きたいと思います。

教 育 次 長

不登校の人数については、毎年全国で調査をしていて、その調査に現れている不登校率といったものに関しては本市の場合、国と同じぐらいの数字にはなっていて、特別栃木市が多いということではないと認識しています。改めて資料を提供させていただきます。

福 島 委 員
教 育 次 長

具体的にはとどのくらいですか？

確かに全体の3%程度と国からは示されているので、本市の場合、小中学生が約1万人いますので、その3%と言いますと小中学生合わせて300人程度になります。これは全国的な傾向として、コロナを経て不登校が全国的に増加しているので、同じような傾向が本市の場合も示されていると記憶しています。

教 育 長

数については、後ほど正確なものを伝えます。私も保護者の集まる機会というのが非常に大事だ、というのを現役のときから思っていて、民間だけをお願いするのではなくて、市教委としてもそういう機会を作りたいと、就任以来の私の悲願だったのですが、令和4年12月に1回目の保護者の集いを開催することができました。それが非常に好評であったので、また今年度も12月に2回目を行いまして、民間団体の代表の方が何十人も集まってくださって、各グループに入ってください、自分の経験談などを話して下さいました。そういった方々って自分自身が不登校の子どもをもった経験のある方が多いので、「今はそうかもしれないけど絶対トンネルは抜けるから大丈夫よ。」と、そのグループの中で何人もの民間団体の方が言ってくれて、私達が言うよりも何よりもやはり実体験者が言う言葉っていうのはすごく響くんですね。涙をこぼしながら話をされているお母さんもいたし、ここに来て良かったって言ってくれた方もいて、これからも続けていきたいと思いました。多分、県内自治体では栃木市が初めて。県で1回、民間団体と児童生徒指導担当との話し合いはありましたけど、多分、県内自治体の中では、栃木市が初めてとなるのかと思います。校長先生方の中にもフリースクールに足を運んで実際に情報共有しているケースも出てきたっていうのが、私は本当にありがたくて。今までどうしても学校とフリースクールのような民間団体との間で、なんとなく垣根みたいなものがあって。学校に来ないでどうしてそっちに行くのか、みたいなそういう意識がどうしても学校現場にはあるのですが、それはおかしいと思っています。子どもの居場所の確保っていうことは、学校だけが子どもの居場所ではないので、学校に来れなかった子が別の場所でお世話になって、社会性を身につけられるような経験ができたらいいと思っておりますので、最初、保護者の会を開く前は、民間団体のリーダーの方々との情報共有をしました。突然やっても絶対失敗してしまうと思ったので、フリースクールや民間団体の方に携わっている方々と行政がまずは膝を交えて本音で話し合っ、その耕しをしたところ、「私達がグループに入って進行してあげるわね。」と仰ってくださいました。それで民間団体の方々が入ってください、私達の方だけではあんなに多くの保護者に良い時間を提供できなかったと思います。そういう意味では、本当に社会全体でタッグを組んで、子どもたちを中心に置いて子どもたちを何とか幸せにしてあげようという、そういう気持ちにならないと、不登校に限らず全てにおいてですけれども、そうならないと駄目なんだろうなというふうに思っています。来年以降も続けていきたいと思っています。他にいかがでしょうか。

館 野 委 員
教 育 長

文化伝承のところを聞きたいのですが。

はい。先ほど例を挙げさせていただいた、学力向上に向けてのところ、就任以来7年間先生たちの授業を見て回って、良いところを写真に残したり、記録に残したりして、先生たちにフィードバックしています、ということを実践された校長先生の言葉として、「私は今年、役職定年で校長は終わります。今年の私のテーマは文化伝承です。」と仰っていました。それは最初の夏の面談のときにでしたが、「自分が築いてきた学校文化を、自分が去った後も続けていってもらいたいということで、今年は私が前面に出るのではなく、教頭先生以下、それから様々な主任、そういった方々を生かしながら、私が手を出さなくても自然にその学校文化が受け継がれていくように、様々な仕掛けをしたいと思っています。」と仰っていて、見事に3学期は今までいろいろな校長先生が出てきたような会議も教頭先生が出ていて、あえて校長先生が出ないようにして職員を出していこうというのがわかりました。先ほど紹介したように、先生方が教育実習生に対しても、自分が先生方にやってきたようなことをやり始めたっていうことで、これが文化伝承ということだと思いました。この校長先生は、「1分1秒が惜しいです。」とも言

っていました。あと1ヶ月と少しですが、非常に良い学校文化を築き上げ、そしてそれを繋げていくような努力をされていたというふうに思ったので書かせていただきました。他にいかがでしょうか。

ありがとうございます。この件は、改めて報告をさせていただきますので、そのときまたご意見いただければと思います。他にいかがでしょうか。

後藤委員

2月14日に県の総合教育センターで、協議会がありまして、そこには幼稚園の代表、それから小学校、中学校、高等学校の校長先生たちが参加していました。県の教育センターは6つの部会があって、限られた時間の中で今年度の様々なアンケートの集計結果と、次年度どのようにしたら良いかなど内容の濃い報告があったのですが、その中で私が驚いたのは、いじめの相談件数で、県の教育センターが受けた相談件数が、確か3・4件だそうです。これは間違っているのではないかと思ったのですが、一方で体の疾患、病気だとか、それから障害についての相談が3桁に近いくらいの件数が上がっているそうです。いじめの相談件数について質問したのですが、センター長が、実はこの数字は県内の市町の教育委員会が手厚く対応してくれているので、県の総合センターの相談件数が少ないのはそういうことなんです。と言っていました。本当に市町の取り組みがなければ、これはもう大変なことになるので、というような話をされたときに、なるほど、栃木市についても全くその通りだと思いました。以上です。

教育長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教育長

次に、日程第3 議事に入ります。協議第2号 栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会への諮問について、を議題といたします。蔵の街課長より説明をお願いします。

蔵の街課長

〔説明要旨〕

栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区保存計画に特定物件（伝統的建造物）1棟を追加する変更を行うため、栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会に諮問する旨説明。

教育長

協議第2号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

福島委員

議案書の5ページに配置図がありますが、道路に面した見世蔵はすでに特定済ですよね。

蔵の街課長

はい。すでに特定済です。

福島委員

見世蔵と、今回対象の建物の間にある繋がった建物は、対象外ですか？

蔵の街課長

そこは使用する方が増築した部分になり、現代の工法になるので対象にはなりません。

福島委員

わかりました。

教育長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教育長

それでは、協議第2号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教育長

協議第2号については、異議なきものと認めます。

次に、報告第1号、栃木文化会館施設整備基本計画（素案）及びパブリックコメントの実施について、を議題といたします。文化課長より説明をお願いいたします。

文化課長

〔説明要旨〕

栃木文化会館については、長寿命化を図りながら中長期的に使用することとし、

そのために必要となる大規模改修を実施することとしている。については、大規模改修における建物及び設備の改修事項、概算事業費や概略工事工程表、事業手法などを定めるため、栃木文化会館施設整備基本計画を策定することについて報告するもの。また、計画に広く市民の意見を反映させるため、パブリックコメントを実施することについて報告する旨説明。

教 育 長
林 委 員

報告第1号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

確認なのですが、確か座席数を変えるような話ですよ。少し幅を取って座席数が減らないというのを聞いたんですけど、その点もう1度説明お願いいたします。それからもう1つは音響のところ、デジタル化を行うのかなど、良くするという意味で重視するのか、根拠を教えてください。

文 化 課 長

まず座席数ですが、栃木文化会館設備基本計画(素案)の11ページをご覧ください。11ページの左側に客席のことについて示してしまして、大ホール・小ホールそれぞれ現在、座席幅が480mmですが、大ホール・小ホールとも今より20mm広げた座席幅500mmにしたいと思います。まず大ホールにつきましては、これにより座席数は106席減ります。小ホールにつきましては18席減ります。座席幅を520mmにしてしまうと小ホールにつきましては、51席も減ってしまうので、そういったことを考え合わせまして、座席幅は500mmにしたいと思います。続きまして音響の関係については、アナログ式の音響設備を長く使っていて、補修部品が無い状態です。デジタル式の機材を使用することで音声などもクリアになります。

林 委 員
教 育 長
大 塚 委 員

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

何回か個人のピアノ教室で使用しているのですが、新しくなってきれいになるのは嬉しいのですが、その反面、使用料が心配になると思うのですが、使用料は上がるのでしょうか。

文 化 課 長

正確な金額はまだ出ていないのですが、物価上昇の流れが世間的にきておりますので、将来的には使用料を検討していかなければと考えています。

教 育 長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

ありがとうございます。次に議案第1号、栃木市教育委員会行政組織等規則の一部を改正する規則の制定について、を議題といたします。グローバル教育推進室長より説明をお願いいたします。

グローバル教育推進室長

〔説明要旨〕

事務の見直しに当たり、所要の改正を行う必要が生じたため、栃木市教育委員会行政組織等規則の一部を改正する規則を制定する旨説明。

教 育 長
教 育 長

それでは、議案第1号につて、ご質問等ございましたらお願いいたします。

I C T環境の整備は、今までは学校施設課が担当していたということでもよろしいでしょうか。

グローバル教育推進室長

主にハードソフトの保守管理は学校施設課が担当しておりましたが、一部、例えば校務支援ソフトやデジタルドリル教材ソフト等は、学校教育課方でも担当しておりまして、3ヶ所にわかれていた形になります。

教 育 長 ありがとうございます。つまり、集約化を図って事務の効率化にも繋がるということ
ことよろしいでしょうか。

グローバル教育推進室長 はい。今までは課をまたぐ部分も多かったので、いろんなことを相談するのも
時間がかかっていたので、集約することで迅速に対応するという事です。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、議案第1号について、原案のとおり決定することとしてよろしいで
しょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第1号について、可決いたします。

次に、議案第2号、栃木市文化振興計画推進本部設置要綱の一部を改正する要綱
の制定について、を議題といたします。文化課長より説明をお願いいたします。

文 化 課 長 [説明要旨]
市長部局における令和6年4月1日の組織改編に伴い、所要の改正を行う必要が
生じたため、栃木市文化振興計画推進本部設置要綱の一部を改正する要綱を制定
する旨説明。

教 育 長 議案第2号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、議案第2号について、原案のとおり決定することとしてよろしいで
しょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第2号について、可決いたします。

次に日程第4 その他 に入ります。事務局から何かありますか。

— なし —

教 育 長 本日の案件はすべて終了いたしました。委員の皆様から何かございますか。

— なし —

教 育 長 ありがとうございます。それでは、これをもちまして本日の定例教育委員会を
閉会といたします。

—— 午前10時48分委員会の閉会を宣言した。 ——

令和6年2月26日

教 育 長

署名委員